

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 19 日 (18:00 ~20:30 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 吉田 三崎 小福田 近藤 出原 藤田 戸田  
前原 山田 東条 前橋 (柴・和田・浅野)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5 人	9 人			14 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>ご本人ご家族のそれぞれの思いをしっかりと聞き取り情報収集を行う。</li><li>利用前に見学に来ていただき事業所の様子を確認することで不安を解消してもらうようにする。</li><li>利用開始からコミュニケーションをしっかりと取り、安心して利用して頂けるよう信頼関係を築いていく</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>利用開始前に必ずご家族やご本人に事業所内の様子を見学していただき安心感を持ってもらえたと思う。また初日から職員から声を掛けコミュニケーションをしっかりと取るように職員全員で配慮することができた。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6 人	8 人			14 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5 人	8 人	1 人		14 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5 人	9 人			14 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3 人	9 人	1 人	1 人	14 人

できている点
<ul style="list-style-type: none"><li>利用開始時、ご本人やご家族に不安が必ずありその点をどう安心していただけるかが大切だと思う。</li></ul> <ol style="list-style-type: none"><li>利用開始前に見学の声掛け、事業内容の説明を行う。</li><li>職員は、ご本人を知るために基本情報の読み込み、開始当初から不安があることを頭に置き早い時期に顔を覚えてもらえるよう声掛けや引継ぎをしっかりとる。</li><li>ご家族に対しては迎え時や送り時または連絡帳で利用時の様子を伝えることで安心していただく。また何でも話せる関係を早期に築くよう心掛け配慮できているように思う</li></ol>

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>個々の目標の把握が出来ていない</li><li>家族とのコミュニケーション不足</li><li>家族や本人の気持ちが聞き取れていない部分があるなど個人差がある。</li><li>顔なじみの関係を構築するのが難しい場面がある。</li><li>新規利用の方に対して配慮はしているが、本人の不安が何なのか、はっきりと言葉にならない利用者もいるので、良かったのかどうか、自分自身も不安になる事もある。</li><li>初回利用時の様子を申し送りノートに詳細を記入出来ない(ケース記録だけでは情報が伝わりにくい)</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>ご本人や家族の気持ちを引き続きしっかりと聞き取っていく</li><li>初回利用時の様子を申し送りノートにしっかりと記入し、申し送りを徹底していく。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 19 日 (18:00 ~20:30 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 吉田 三崎 小福田 近藤 出原 藤田 戸田  
前原 山田 東条 前橋 (柴・和田・浅野)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	8 人	5 人		14 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・今できている事が、継続できるよう声掛けや手助けを行う。</li><li>・当面の日々の「～したい」を実現することで本人の思いをくみ取り、やりたい気持ちや目標達成に向けて行動していく。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>・今できていることができるだけ継続できるような声掛けや支援を行い、手を出しすぎないケアを行っている。</li><li>・日々の暮らしの中で「～したい」を現実できるようにしっかり傾聴し、ご本人の思いを受け止める努力をしている。</li><li>・行事やレクリエーション、アクティビティに対して選択できる方法でご本人に「～したい」気持ちを持っていただくように声掛けしている。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		9 人	5 人		14 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		8 人	6 人		14 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		5 人	9 人		14 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1 人	7 人	4 人	2 人	14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・本人の「したいこと」「できていること」に取り組む手助けができるよう職員間で情報を共有できるように夕礼、かたらい会議等でご利用者の取り組みについて情報交換している</li></ul>

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・介護や業務中心になって取り組みがきちんと出来ていない</li><li>・言語化できる方は気持ちが聞き取りやすいが、言葉に出しにくい方、理解力も低下している方、また実際自分は何をしたいのか分からない人もあり、井戸端会議で終わってしまう事が多かった。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・日々の会話の中から本人の気持ちをしっかりと聞き取り、一緒にやりたいことを探します。</li><li>・「～したい」を実現につなげていくために個別対応の機会を増やす。</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 19 日 (18:00 ~20:30 )

3. 日常生活の支援

メンバー 吉田 三崎 小福田 近藤 出原 藤田 戸田  
前原 山田 東条 前橋 (柴・和田・浅野)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	7 人	4 人	1 人	14 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・アセスメントを行う時、担当職員や看護師も一緒に行い、状態の把握に努める。</li><li>・日常生活支援シートをしっかりと活用し、変化に合わせて書き込みを行い情報共有を行う。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・毎月かたらい会議でモニタリングに対して話し合いを行ったり、6 か月に 1 回のアセスメントを担当職員も加わり状態把握に努めることができた</li><li>・担当職員が基本情報やアセスメント表から日常生活支援シートを作成し変化に合わせて書き込みを行っているが担当以外の職員が読み込みなど活用に至っていないことがある</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?		7 人	5 人	2 人	14 人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8 人	6 人		1 人	14 人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2 人	6 人	5 人	1 人	14 人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5 人	8 人	1 人		14 人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	6 人	6 人	2 人		14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者様の個々の状況に合わせた対応ができている。またその変化をその都度、職員同士で話しあい対応し申し送りノートで全員把握している。</li><li>・月 1 回の会議でも今の状況を話し合うことができている。</li></ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・日常生活支援シートの記入が定着出来ておらず、活用が出来ていない。(口頭だけの情報伝達や申し送りノートの記入だけになってしまい、日常生活支援ノートに記入まで至っていない)</li><li>・アセスメント時期が把握できていない。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・日々の支援に対しては、職員間の口頭の情報共有や申し送りノートをしっかりと活用していく</li><li>・利用者の変化で気づいたことを職員間で共有し (申し送りノート、夕礼、かたらい会議等)、より安心して過ごしてもらうようにする。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 19 日 (18:00 ~20:30 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 吉田 三崎 小福田 近藤 出原 藤田 戸田  
前原 山田 東条 前橋 (柴・和田・浅野)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	6 人	4 人	1 人	14 人

前回の改善計画  
・送迎時や訪問時、ご家族との会話や近所の方との挨拶、コミュニケーションを取ることで情報収集を行い、日常生活支援シートに書き込み活用していく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
・家族との会話を大切に行い、家での様子や状態の変化など把握に努めている。  
・町内掃除に対して同じ地域の方に町内のルールを確認し事前に声を掛けることで参加できた  
・日常生活支援シートに書き込み活用はできていないが申し送りノートや会議、夕礼等で情報共有できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		11 人	2 人	1 人	14 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3 人	6 人	4 人	1 人	14 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2 人	7 人	4 人	1 人	14 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2 人	10 人	2 人	14 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・家族のできる事や今までしてきたことを無理のない程度で継続してもらうよう確認を取りながら積極的に会話を持つようにしている。  
・地域の関わりや少しの手助けで参加できることには積極的に支援している。そのためにも情報収集や共有に努めている

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・日常生活支援シートが活用できていない  
・地域での活動が把握できていない  
・事業所が直接接していない時間や過ごし方が分からないことが多い。  
・地域資源の把握が難しい(個人差がある)  
・地域との人間関係の把握や、地域からの情報提供が少なくなっている。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
・訪問時や送迎時、地域の方へ挨拶していくことでコミュニケーションを取り、声をかけてもらいやすい関係性作っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 19 日 (18:00 ~20:30 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 吉田 三崎 小福田 近藤 出原 藤田 戸田  
前原 山田 東条 前橋 (柴・和田・浅野)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	8 人	1 人	1 人	14 人

前回の改善計画
・利用者様一人ひとりに対する対応の仕方や本人の気持ちの変化に気付きその変化を職員間でも共有していく。 ・職員がその方の生活や地域の関係性を理解した上で、その日の変化に応じて柔軟な対応を心掛ける。
前回の改善計画に対する取組み結果
・ご利用者やご家族が日々暮らしていく中で利用者様の気持の変化、体調の変化に対しては気づきを大切にまた町内への参加や家族の都合などは情報を共有しながらその時の状態に合わせて支援することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	4 人	4 人	5 人	1 人	14 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	10 人	4 人			14 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	7 人	6 人	1 人		14 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	9 人	5 人			14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・地域の関係作りや地域へのアプローチ、声掛けを積極的にしている ・急な利用変更にも適切に対応できている。また、本人の気持ちに寄り添い不安を和らげた利用の仕方を行っている。 ・申し送りノートやかたらい会議で情報の共有はできている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・地域資源の情報収集が難しい地域もある

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・利用者様一人ひとりに対する対応の仕方や本人の気持ちの変化に気付きその変化を職員間でも共有していく。 ・職員がその方の生活や地域の関係性を理解した上で、地域の情報を収集していく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 19 日 (18:00 ~20:30 )

6. 連携・協働

メンバー 吉田 三崎 小福田 近藤 出原 藤田 戸田  
前原 山田 東条 前橋 (柴・和田・浅野)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	7 人	2 人	2 人	14 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・体調や医療面で困っていることを積極的に主治医に相談する。</li><li>・事業所が関わりのある地域や町内会の活動に一人でも多く参加し地域との関係性を作っていく。</li><li>・利用者様が住む地域の情報を元に参加する意思を確認しながら地域との関係性の継続を支援していく</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>・緊急時はもとより定期受診の際にも現状や利用者様が不安を感じている事を相談するなど。医療機関との連携を図ることができた。</li><li>・地域の活動の機会があれば利用者様と積極的に参加し地域での楽しみや関わりを大切にすることができた。個々の地域とのかかわりは年々少なくなっているように思える。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	6 人	3 人	1 人	4 人	14 人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3 人	3 人	3 人	5 人	14 人
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	4 人	4 人	2 人	4 人	14 人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	6 人	2 人	3 人	3 人	14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の活動やイベント情報を元に利用者様が参加できる活動 (健康祭り、学区の祭り、保育園の運動会、子供神輿等) 出向き参加することで地域とのつながりを作っている。</li><li>・職員は町内清掃、夜警など活動に参加して施設として地域交流カフェなどの企画・実施を行った</li></ul>

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者様の個々の地域活動の情報がなかなか把握しきれず、個人的に参加していただいている活動の把握のみになっている。</li><li>・地域とのかかわりが把握できない。</li><li>・地域の情報が把握できても年齢などのこともあり参加が困難になっている。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者様が住む地域の情報収集を積極的に行い、参加する意思を確認しながら地域との関係性の継続を支援していく</li><li>・事業所が関わりのある地域や町内会の活動に一人でも多く参加し地域との関係性を作っていく。</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 19 日 (18:00 ~20:30 )

7. 運営

メンバー 吉田 三崎 小福田 近藤 出原 藤田 戸田  
前原 山田 東条 前橋 (柴・和田・浅野)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	4 人	7 人	1 人	14 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に1回、家族や、利用者様に向けてアンケートを実施し、意見を頂く。</li> <li>・地域の方に頂いた意見を持ち帰り検討等を行い、利用者様が住みやすい環境を職員も考えていく</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度はアンケートの実施ができなかったが日ごろからコミュニケーションの中で外出行事など行ってみたい所や食べたいものなど意見を聞くことができています。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		7 人	6 人	1 人	14 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	8 人	3 人	1 人	2 人	14 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	8 人	3 人	1 人	2 人	14 人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	3 人	6 人	3 人	2 人	14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年3月に推進委員を中心に地域の方を交えた避難訓練を実施したり、地域交流カフェを開くことで地域の方に来ていただいて意見を伺うことができた。</li> <li>・ご利用者、ご家族、地域の方から意見がある時は、解決に向けて職員で話し合いを持ち敏速に対応をするようにしている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者やご家族の情報に対してどこに目をむけていくか。</li> <li>・アンケートの実施ができていない。</li> <li>・事業所のあり方について、なかなか具体案が思い浮かばず貢献出来ていない</li> <li>・自分から積極的な働きが少ない</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力あるカフェづくりを行う</li> <li>・地域の方との交流カフェの開催を続け事業所をより多くの方に知っていただき相談をしていただけるような関係作りを続けていく</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 19 日 (18:00 ~20:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 吉田 三崎 小福田 近藤 出原 藤 戸田  
前原 山田 東条 前橋 (柴・和田・浅野)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	6 人	6 人	1 人	14 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>勉強会や研修会にできる限り参加する。研修後事業所内でフィードバックを行う</li> <li>わからないことを何でも質問できたり相談できるよう職員間の関係性を良好にする</li> <li>ヒヤリハットの重要性を理解し、常に意識を持ちながら気付きを多く出し合いその都度検討し、月一回の会議で再確認を行う。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>勉強会や研修会にできる限り参加できるようにしているがなかなか全員が参加できない。</li> <li>職員間でわからないことは職員同士で確認できる関係性を保っている。</li> <li>ヒヤリハットを利用し夕礼や会議の中でしっかり話し合いをすることで今年度も岡山市に報告するような大きな事故もなく過ごせている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか		8 人	5 人	1 人	14 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2 人	4 人	6 人	2 人	14 人
③	地域連絡会に参加していますか	1 人	1 人	5 人	7 人	14 人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1 人	7 人	3 人	3 人	14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の気持ちの中に事故に対してのリスクマネジメントの意識を高く持っているため十分注意しながら介護にあたっている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は資格取得の研修等に参加できていない</li> <li>ヒヤリハットに対しての正確な知識が不十分で事故防止の為というよりもマイナスのイメージをや持って軽視することでヒヤリハットに対して認識の甘さがある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の会議でみおつくしの読み合わせを行い、自分自身を振り返ると共に法人が求める人材像や職員の基本方針を確認する</li> <li>ヒヤリハットをかたらい会議等で職員間で共有することで事故防止につなげていく</li> <li>チームワークを大切にして同じサービスの提供に努める</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 19 日 (18:00 ~20:30 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 吉田 三崎 小福田 近藤 出原 藤田 戸田  
前原 山田 東条 前橋 (柴・和田・浅野)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	7 人	2 人		14 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共同生活の場であることを今一度認識して人権・プライバシーに十分注意し配慮した対応に努めていく。 (呼び名に注意する。)</li> <li>(職員間の伝達の際は事務所内もしくは小さな声で話をするようにする。)</li> <li>(自分自身に置き換えて言葉がけや不適切なケアにならない様十分注意し意識していく。)</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権やプライバシーに十分注意し配慮して対応をするよう気を付けているが、声のかけ方で利用者様に不愉快な思いや、顔色が変わるような気持ちにさせているのではないかと思う。苦情には上がってきていないが今後も引き続き職員一人一人が自分自身を振り返る必要がある。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11 人	1 人			14 人
②	虐待は行われていない	11 人	1 人	人		14 人
③	プライバシーが守られている	2 人	9 人	1 人		14 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	9 人	1 人		2 人	14 人
⑤	適正な個人情報の管理ができています	5 人	6 人	1 人		14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「拘束・虐待・個人情報の管理」については、研修を受けており適切な対応が出来ている。</li> <li>・ 成年後見制度については必要に応じて活用できている</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日々の生活の中で、耳が遠いご利用者のためについ大きな声を上げることがある。筆談等も使用する必要があると思う。</li> <li>・ 利用者の呼び方について馴れ馴れしくなってしまう違和感を感じることもある。敬意ある呼び方ができていない。</li> <li>・ 事務所内でしている夕礼時の話声が大きいので気を付ける必要がある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不適切なケアにつながらないように、常に誠意をもって支援し利用者に配慮した対応に努めていく</li> </ul>	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人幸輝会	代表者	国富隆夫	法人・事業所の特徴	『職員の笑顔は利用者様の心の安定剤に』～そっと寄り添う心くばり～を行動目標に一人ひとりの個性や思いを受け入れています。利用者様の「できる力」を奪わず「～したい」の実現に向けて努力しながら、毎日が笑顔で過ごせるように取り組んでいます
事業所名	かたらい	管理者	吉田茂美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	7人	人	人	人	1人	4人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・事業所が示した改善計画にのって具体的に行う。	・1「初期支援」に対して特に重視し取り組んできた。利用者様の利用初めに対しての不安な気持ちが軽減できるようほぼ職員が実施できている。	・しっかり話し合いができていると思う。 ・具体的目標に対して数値化、文言化されているほうがわかりやすい。	・毎日をより充実したものにできるよう本人の気持ちを聞き取り実現につなげていく
B. 事業所のしつらえ・環境	・安心できる居場所として、快適で過ごしやすい空間にしていく。 ・地域の方にも利用して頂けるよう工夫する	・落ち着いて過ごしやすいように配慮している。 ・家族や友達もよく面会に来てくれて一緒に過ごしていただいている	・鍵は防犯上のことお考え鍵をかけるべきだと思う。	・安心できる居場所として、快適で過ごしやすい空間を根ざしていく。 ・地域の方にも利用して頂けるよう工夫する
C. 事業所と地域のかかわり	・地域交流カフェを開催する ・町内行事に参加することで地域との関係をより良いものとしていく。 ・地域への貢献ができる様に具体案を考えていく。	・地域交流カフェの開催を今年度は一度のみの開催だった。 ・地域の行事には積極的に参加できたと思う。 ・町内掃除・夜警など参加できた	・カフェ交流を活発にしていってほしいと思う。 ・地域の住民を集めることが難しい。 ・地域に対しては協力していただいている。 ・介護や救急時に対して講習会等にも参加したい。	・地域交流カフェを開催する ・町内行事に参加することで地域との関係をより良いものとしていく。 ・地域への貢献ができる様に具体案を考えていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・個々が親しんだ所や行きたい場所に出かけていく。	・なかなか個々の行きたい所の把握ができなかったが、事業所としていろんなところに出かけて懐かしんでいただくことができた。	・ご利用者の意見を尊重しようとしている姿勢が伺える	・地域活動に目を目を向け今までの関係性を閉ざさないような働きかけを行っていく
E. 運営推進会議を活かした取組み	・しっかり意見が頂けるような会を考えていきたい。	・意見をいただけるよう工夫しながら会を進めてきた。	・座談会のように意見交換できれば良いと思う ・推進委員の役割は何？	・委員の方が意見交換できやすい会を考えていきたい。
F. 事業所の防災・災害対策	・地域の代表者ある運営推進委員の皆様と事業所の職員とで合同の避難訓練を行う。	・今年度は新型コロナウイルス流行の為、合同避難訓練は中止、乙多見事業所内で職員利用者のみで実施する	・火事、水害、浸水、地震などどんな訓練、対策をしたらよいか ・みんなの顔が見える町内”を目指している。足が悪い人、独居の人等把握は心掛けているが具体的には決めていない。	・水害に備えて地域の方と一緒に避難訓練や避難計画の確認を行っていく



